



Profile



氏名：平出将孝(Hiraide Masataka)

出身：福島県

職種：手工芸

期間：2017年10月～2019年9月

赴任地：東ティモール首都ディリ

活動：配属先は文化省の主に工芸品を取り扱う部署で生産者グループの支援を行っています。

Timor-Leste

公用語：テトゥン語ポルトガル語

人口：118万人(岩手県ぐらい)

面積：約15,000km(岩手県ぐらい)

宗教：大半がカトリック

通貨：アメリカドル

歴史：ポルトガルの植民地後、インドネシアが制圧。1999年の住民投票でインドネシアからの分離・独立を選択し、2002年に独立国家となりアジアで一番若い国と呼ばれてる。



1 1年を振り返って

東ティモールに赴任して1年が経ち、折り返しとなりました。何をすることも新鮮さを感じた赴任当初から少しずつ活動も生活も馴染み、楽しんで生活しています。初めて日本を離れて生活してみて、日本の魅力に改めて気付いたり、若いエネルギーが多い東ティモールの可能性を感じています。まだ発見できていない東ティモールを探しながら、残り1年も時間を大切に過ごしたいと思います。



子どもが多い東ティモール

2 配属先の活動

職場の予算がまだ下りてこず、イベントが開催できないため、同僚はじっと仕事を待っている状態です。そんな職場にも新しい職員が入ってきました。新しい同僚も張り切っていた分、実際に仕事がないことにストレスを感じているようです。

一方で、自分の活動は午前中は職場にいて同僚とパソコン作業をして、午後は外で竹細工と活動が定着してきました。竹細工はNGOがとても活動しやすいです。なぜなら必要な竹を自ら確保してくれること、一緒に作りたいと言ってくれる人が熱心だからです。創作意欲も高く、今では自らかごやランプシェードなども作れるようになりました。



ランプシェード、かごなど様々な形が作れるようになりました

3 特集「身近な動物たち」

東ティモールでよく登場する動物を紹介します。現地の家、地方へ行く途中の放牧など、犬や猫の他に豚やニワトリ、牛、ヤギやハトが育てられています。



”ワニ”が男の子を助けて東ティモールという島ができたという伝説があり「Avo(ご先祖さま)」と呼ばれています。

”海に入るときはワニにご注意を”は合言葉ですが、日頃の行いが悪いから噛まれるという逸話もあります。



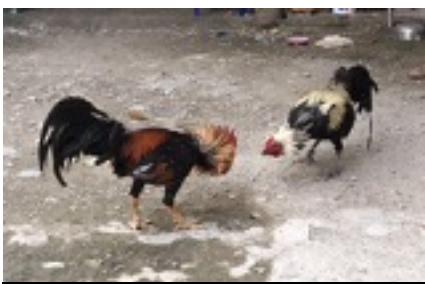
”牛”は高級品で地域によっては結納の時に必要になることもあるようです。



”豚”の歩き売りの様子です。地元の人スーパーで買うより、こちらの方が新鮮とのことです。



日中は暑くておとなしい”犬”も夕方からは番犬としてきちんと仕事します。



自分の家の敷地内にいるニワトリは闘鶏用です。夜中もコケコッコと泣き続けてうるさいです。

4 報告会

赴任後1年経過した隊員と、帰国前の隊員が報告する、中間報告会と最終報告会がJICA事務所であり、隊員約30名が集まりました。

同期隊員の活動の様子は励みになりました。帰国隊員の最終報告は活動をやりきったというのが伝わってきて、来年自分も同じような気持ちで帰国を迎えたいと感じました。《第12号終わり》